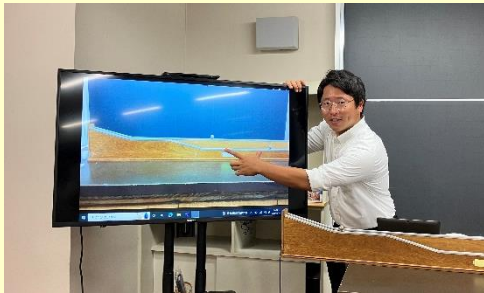


県内学級担任紹介

日々、児童生徒のよりよい成長を願い、魅力溢れる授業実践や学級経営を行っている先生方を紹介します。その先生が日々の授業や学級経営を行う上での根幹となっている考え方、またよりよい実践のためにどのような工夫をしているのか、その秘訣も紹介します！

学校名： いすみ市立大原中学校



担任名：川島 悠司
教員経験：9年

(令和5年9月1日現在)

タイトル【ブレードモデル作製】

風力発電機の発電量（回転数）を増やすためのブレード形状を考え、モデル作製を行いました。風力発電への関心を高めることができ、利点や課題を調べる活動につなげることができました。

○準備するもの

画用紙、はさみ、テープ、楊枝（軸）
扇風機

○生徒の様子

扇風機にかざしたブレードモデルが回転する様子を観察することで、ブレードのバランスや重さ、風の安定性に課題を見出していました。各自が見出した課題を解決しようと、何度も修正を繰り返す様子が見られました。

「回転音が気になる」、「強風に耐えられる強度が必要」、「自然界で安定した風を得られるのか」、「破損したときに発電が止まらない工夫が必要」と新たな課題に気づく生徒も見られました。

学級経営で取り組んでいることや「やりがい」

放課後の教室掃除

「環境が人をつくる」と先輩教諭からご助言いただいて以来、放課後に教室清掃を行っています。きれいな教室はリラックスできます！！

授業で心掛けていること

会話を楽しむ

生徒の反応に応じて助言を繰り返し、生徒と一緒に考え、答えを導き出すことを楽しんでいます。

私の好きな「こ・と・ば」

「人生1回」

人生1回だと思うと、やる気が出て行動したくなります。行動することで得た新しい発見は、自己成長の糧となり、人生を充実させてくれます。

生徒が作製したブレードモデル



面積が少ない場所にも設置できるように円柱型を作製しました。

生徒の質問に答える様子

質問に来た生徒には、ヒントや新たな視点を助言し、答えを自力で導き出せるようにしています。



この件についてのお問い合わせ
企画管理部 教育政策課
電話043-223-4015